



校長室の窓

令和7年8月26日
学校だより第5号より

37日間の夏休みが終わり、子供たちの元気な声が学校に戻ってきました。子供たちは笑顔で互いに夏の思い出を語り合いながら、落ち着いた雰囲気です。1学期後半のスタートを切っています。

この夏、子供たちは学校を離れ、家庭や地域で多くの時間を過ごしました。保護者・地域の皆様には、日々の生活の中で子供たちの安全を見守り、成長を支えてくださったことに心より感謝申し上げます。子供たちの成長には、学校での学びだけでなく、家庭での関わりや地域での体験が大きな意味を持ちます。子供たちは、社会の様々なつながりの中で育まれているのだと、改めて感じています。

そうした思いを新たにしたのが、7月22日に開催した「月立子ども育成会」です。自治会長の皆様、民生児童委員の皆様をはじめ、多くの地域の方々にご参加いただき、子供たちの健やかな成長と安全・安心な生活について、活発な意見交換が行われました。

ある民生委員様からは「ゲームに触れる時間が増える中で、ただ『やめなさい』ではなく、大人と一緒に外に連れ出し、遊びの楽しさを伝えていく必要がある」とのご意見をいただきました。また、ある自治会長様は「かつては自治会単位でのふれあい活動が盛んだったが、今は難しくなっている。だからこそ地域全体で子供たちを支えていきたい」とお話しくださいました。

さらに、子供同士のトラブルに関しても、「困ったときに学校だけでなく地域の誰にでも相談できる環境が大切」「大人が全てを解決するのではなく、子供たちが自分たちで乗り越えられるよう見守る姿勢も必要」といった貴重なご意見も出されました。

子供たちの「生きる力」を育むには、学校・家庭・地域がそれぞれの役割を果たしながら、同じ方向を向いて支えていくことが何よりも大切です。地域の皆様が真剣に子供たちの未来を思い、共に育てようとするこの地の温かさに、改めて深い感謝と責任を感じました。

1学期後半も、子供たちが安心して学び、伸び伸びと成長できるよう、職員一同努めてまいります。今後とも変わらぬご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。